

合志市総合計画進行管理 【合志市総合政策審議会意見・指摘事項】

審議日 平成28年8月9日、17日、24日

市総合政策審議会意見・指摘事項の基礎となった個別意見（番号入りの意見）を付記していますので、参考ください。

なお、事務事業単位の要望・提案事項は別途提示します。

1. 危機管理・防災対策の推進

・地域住民へ分かりやすい情報発信及び防災無線の更なる整備を図ること。

（まとめの基礎となった個別意見）

- ①防災無線の放送が聞き取りづらい。
- ②高齢者夫婦の2人暮らしの家庭が多い。危険箇所、危険場所を確認しあい、危機管理に努める。
- ③緊急時に国・県の公共施設を開放してもらってはどうか。
- ④日頃より近隣住民との繋がりを持つよう働きかける。

・避難場所の周知徹底を図ると共に避難場所の在り方も再検討すること。

（まとめの基礎となった個別意見）

- ⑤今回の地震は避難所が足りなかった。各区に増やすなど、避難所の見直しの検討を。
- ⑥障がい者、高齢者への避難場所の周知徹底を行う。
- ⑦近くの避難所が一杯で自宅付近に留まった人が多かったため、避難所を指定せず、避難している所を市に報告する制度を考えてはどうか。
- ⑧事故や災害を未然に防ぐため、地域や職場で話し合って、危険を予想・指摘しあう危険予知（KY）活動を取り入れたらどうか。
- ⑨震災の対応の反省を行い、フィードバックさせること。
- ⑩福祉施設は緊急時に障がい者や高齢者の避難所として協定している所があるが周知が行われておらず、活用が出来ていないため、緊急時にもっと活用出来るよう周知をすること。
- ⑪災害発生時に福祉避難所を開所するまでの体制整備を行うこと。

・防災訓練を実施すること。

（まとめの基礎となった個別意見）

- ⑫もっと実態に即した活用しやすい防災マップを作成してはどうか。
- ⑬引き続き、災害に関する啓発を行う。
- ⑭大規模災害に備え、各区で自主防災訓練を実施する。
- ⑮市民が日頃から災害に関して関心や研究しておくような啓発に努める。
- ⑯地域の自主防災組織の結成率が100%になるよう働きかける。

2. 防犯対策の推進

・引き続き、犯罪被害に遭わないよう防犯対策に努めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①防犯の内容をしっかりと分析したうえで効果的な防犯の実践を。
- ②振り込め詐欺に遭わないよう、地域で犯罪内容の共通理解を図るような啓発を。
- ③子どもたちが被害者だけではなく加害者としても犯罪に関わらないような教育の充実を。

・引き続き、地域や関係機関との連携を図り、地域の防犯力向上に努めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ④散歩者に防犯チョッキやタスキを付けて見守りするような体制作りの推進を。
- ⑤子どもの登下校時に近所のお年寄り等がおしゃべりしながら見守れるようなベンチ等を各所に設置してはどうか。
- ⑥畑間の移動等の多い農家の軽トラにパトロール中など張り紙をしたらどうか。
- ⑦引き続き、防災無線で、子どもの登下校時に合わせた子どもたちへの声かけ運動の取り組みを。
- ⑧地震後、他所からの流入による犯罪被害が増えることが懸念されるため、引き続き警察を含めた各種団体のパトロール強化を。

・引き続き、防災無線の活用、防犯灯のLED化、防犯カメラの設置等、防犯に対する環境整備に努めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑨防災無線をもっと活用して、防犯の注意喚起を。
- ⑩引き続き、防犯灯のLED化に努めること。
- ⑪公園に監視カメラの普及を。

3. 交通安全対策の推進

・特に高齢者向けに交通安全の啓発活動を充実させること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①特に、あまり外に出ない高齢者への周知・啓発を考えること。
- ②引き続き、啓発活動を続け、多くの参加者が興味を持つような内容にする必要がある。
- ③高齢者が加害者や被害者になる交通事故が多発しているため、体力の低下を自覚させるような講習会等が必要である。
- ④自治会の総会等に合わせて、出前講座を活用して交通講話をもっと行ってもらいたい。
- ⑤高齢者を対象とした交通安全教室をもっと開催して欲しい。
- ⑥例えば、子どもが親などの大人にドライバーのマナー向上に結びつくような「チェック」をさせるなど、「安全教室」のなかで、項目の一つとして行わせてはどうか。
- ⑦自治会活動の一環として交通安全教室の計画的実施を。

・独自の表彰制度を設けるなど、交通事故防止対策を行うこと。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑧交通安全の意識付けのため、安全運転の表彰制度の実施や地区ごとに無事故無違反コンクール、講習会参加回数のスタンプラリーなどを実施してはどうか。
- ⑨引き続き、車やバイクの運転者を始め、自転車の運転者や歩行者の交通マナーの向上を図る。
- ⑩新興団地での特に夜間の路上駐車違反が目にするため、パトロール強化を願う。
- ⑪飲酒運転の撲滅を。

・ **道路整備など交通安全施設を充実させること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑫安全に交通できるよう、道路の整備をはじめ、通学道路のカラー舗装化や歩道の充実など交通安全施設の充実を図る。
- ⑬危険な交差点があるため対策を。

4. 公共交通の充実

・ **公共交通の利用者増のための取り組みを図ること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①路線が複雑で、バス停の場所等が分かりにくく初めての人にとっては利用しづらい。
- ②一度利用すれば便利なものだと思いがたえず。無料デイなどを設けて利用したことがない人をバスにさせる取り組みを行う。

・ **公共交通の利便性の向上に努めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ③レターバスの本数、路線数を増やしてはどうか。
- ④住宅地からバス停までが遠いところがあり利用しにくいいため、バス停の増設を。
- ⑤市内の病院を回る路線、福祉施設を回る路線など様々なパターンの路線の検討を。
- ⑥須屋方面にバスターミナルのような場所が出来てほしい。

・ **乗り合いタクシーの運営の工夫を検討すること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑦予約制乗り合いタクシーについて、障がい者や高齢者に限定してもよいので、家まで送迎してはどうか。
- ⑧市営タクシーの運営を検討してはどうか。

5. 道路ネットワークの充実

・ **国、県、周辺市町との連携を図り道路ネットワークの整備を早期に実現すること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①スマートインターを早期に実現をしてほしい。
- ②県道大津植木線を早期に実現をしてほしい。
- ③県道大津西合志線の拡幅をしてほしい。

・ **通学路、生活道路の危険箇所の解消に努めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ④自転車専用道を作ってみてはどうか。
- ⑤学校付近や団地内の通勤車の通り抜け対策を講じること。

・ **交差点改良により交通渋滞解消を図ること。**

- ⑥スクランブル交差点は土、日曜日の渋滞が激しいため、渋滞緩和対策を。
- ⑦合志中はスクールバスを運行してはどうか。自転車通学者が多いため、交通渋滞の解消に繋がるのでは。
- ⑧右折専用レーンが少ないため、道路改良を行うことで交通渋滞の解消に繋がるのでは。

6. 計画的な土地利用の推進

・ **引き続き、国・県などの関係機関と連携して広域的な土地利用計画を検討すること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①引き続き、国・県と連携し進めること。
- ②熊本再春荘病院の改築により緊急車両が利用しやすいよう周辺道路の拡張整備が必要。
- ③阿蘇立野の被災をうけ国道57号のルート変更を見据えた計画が必要。
- ④医療刑務所跡地に予定している小中一貫校建設に向けて周辺地域の土地利用も併せて検討しておく必要がある。

・ **国・県誘致を含む土地の有効活用を図ること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑤スマートインターチェンジの早期着工を望む。
- ⑥国県有地を利用して県営野球場の誘致をすすめてほしい。
- ⑦安心安全な合志市をPRして様々な方面に施設進出を促し誘致を働きかける。
- ⑧東海大学の阿蘇キャンパスの一部を合志市に誘致できないか検討する。

・ **土地利用に対する市の方針や事業の進捗状況を市民に周知すること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑨土地利用計画並びに事業進捗状況など市民に知らせてほしい。
- ⑩国の農業研究センターの有効活用を図る。

・ **引き続き、市街化調整区域の規制緩和を働きかけること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑪引き続き、市街化調整区域の規制緩和を、国、県に要望していく。
- ⑫市街化区域と市街化調整区域とのバランスについて検討する。
- ⑬農村地域の開発の規制緩和を。

7. 地球温暖化防止対策の推進

・ **引き続き、ごみの減量化に向けたごみ分別の啓発に努めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①引き続き、徹底した家庭ごみの分別に向けた啓発、教育に努めること。
- ②スーパーだけでなく、コンビニでもマイバッグの普及促進を。
- ③引き続き、ごみの減量化の推進を。

・ **引き続き、環境に対する意識向上に向けたエコ学習やエコ活動の推進に努めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ④マイカーの使用を減らすため、自転車の利用促進を。また、併せて道路整備等自転車を利用しやすい環境整備を。
- ⑤企業の太陽光発電を推進するとともに、LED化を推進する。
- ⑥企業や事業所は簡易包装に努める。
- ⑦月に1度のノーマイカーデーを決めて、公共交通の利用促進を図る。

・ **緑を守り増やす活動に努めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑧記念樹などを行事や家庭などでも増やし緑の増加につながるようにしてはどうか。

8. 廃棄物の抑制とリサイクルの推進

・ **環境美化推進員の資質向上を図ること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①ごみを出す日にごみの出し方等の指導するのが一番良いと思われるが、ごみが回収された後の清掃のみでは効果がない。環境美化推進員の更なる資質向上を図る。
- ②区長や民生委員は掲載されているが、環境美化推進員の職務と氏名は広報に掲載されていないため広報に掲載を。

・ **ごみを分別し、出しやすい環境を整備すること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ③事業所ごみはごみステーションに出せないため、引き続き、事業所ごみの自主廃棄の啓発を。
- ④資源ごみの持ち去り行為を抑制するため、資源ごみ保管所を各地区に推進する。
- ⑤再生資源回収団体に対する補助、助成方法のPRを。
- ⑥ごみ減量化に向けた分別の徹底を積極的に推進する。
- ⑦コミュニティセンター等市民が集まる場所に365日24時間いつでも出せるごみ回収ボックスの設置の検討を。
- ⑧可燃ごみへの混入を防ぐため資源物の収集回数を増やしたらどうか。

9. 住環境の充実

・ **商業地の充実を図ること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①買い物の際は菊陽町まで行くことが多いため、近くに大型ショッピングセンターを作って欲しい。
- ②市内のスーパーがあるところは渋滞がひどく買い物が不便であるため、道路の整備及び渋滞しない場所へのスーパー等の誘致を。
- ③プレミアム商品券の取り組みは非常によかった。このような取り組みを引き続き行って欲しい。

・ **安全な住環境を整備すること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ④街灯・防犯カメラの設置を増やし、防犯に努める。
- ⑤住民同士で連携して地域で犯罪を防ぐ。
- ⑥大雨の際の道路の冠水に対処する。
- ⑦今回の震災の際、濁り水が発生した。原因を究明し、今後の対策を。

・ **子どもが遊べる環境を充実すること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑧学校の生徒数の差が大きいため、平準化できるよう北部地域に定住化の促進を。
- ⑨ボール遊びができる公園や、ペットの散歩用の公園などを作ってはどうか。

10. 水環境の保全

・ **水質保全及び水資源の保全を更に努めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①引き続き、良好な水量と水質を保つ取り組みに努めること。
- ②更に、水資源確保のための取り組みを進めていく。
- ③下水道普及により、河川環境が良くなったので、今後も水質保全に努めること。

11. 農業の振興

・ **引き続き、農業を守るための対策を講じること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①後継者の確保や育成など農業を守る政策を。
- ②安定した収入を得るため農業の企業化を検討してはどうか。
- ③土地利用規制緩和を早急に！
- ④若手農家の育成。

・ **引き続き、合志市の農業自体のブランド化を目指しながら、昔ながらの味の発掘と啓発に努めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑤地産地消推進のため、合志の更なるブランド化とブランド品のPRを促進するとともに、物産店を増やす。
- ⑥朝市を実施するなどして、合志の新鮮な物が安いイメージづくりをする工夫を。

- ⑦農家の家庭のレシピを集めた本を出して、レシピから農作物の消費につなげるなど、農作物や加工品を中央に出すのもいいが、懐かしの味を食べにきてもらうなど、逆転の発想を。
- ⑧農家の食事や健康の知恵などを市民に発信して、アイドルのおじいちゃんやおばあちゃんを作ってはどうか。

12. 商工業の振興

・合志市の核となるような商店街、商業施設の設置を図ること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①合志市の核となるような商店街、商業施設の確立を。
- ②地域の商店が市場として集まり、希望の集落へ移動販売するなど、既存の商店を助けるような方策を。
- ③商店の減少による買い物不便の解消。

・引き続き、合志ブランドの開発と商品のPR、販売を進めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ④合志ブランドの手ごろな価格設定でお土産となるような物の開発を進めてもらいたい。
- ⑤クラッシーノマルシェは高価という声が多いため、スーパーの価格等も考慮した値段設定にした方がよいのでは。
- ⑥クラッシーノマルシェは、他産地の物もあり便利ではあるが、市の産物には生産者の説明があるのに対し他の産物にはないため、説明を入れてほしい。

・市内事業所の市民への周知方法を検討すること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑦地元事業者の利用促進のため、以前発行していた市内事業所を掲載した電話帳の発行を。
- ⑧ユーパレス弁天の認知度向上を図るため、弁天山を活用したウォークラリー等、自然と施設をコラボしたイベント等をしてはどうか。

13. 働く場の確保と企業誘致の促進

・地元企業の育成に努めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①コワーキングスペースの確保など、ベンチャー企業、フリーランスが活動できる場の整備。
- ②起業を促進する取り組みを。

・企業誘致と地元の雇用の促進に努めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ③合志市と同じような自治体を参考にして、引き続き企業誘致を積極的に行うこと。
- ④企業内保育所の導入を促進すること。
- ⑤働く場の確保も大事であるが、人材育成のため資格取得や技術習得の支援を行うこと。
- ⑥介護職の人員が不足している。介護職を増やす取り組みを。

⑦若者が安心して就職できる企業、工業、商業の確保。

⑧法人税の確保につなげるよう、引き続き、優良な大企業の誘致活動をお願いする。

14. 市民参画によるまちづくりの推進

・市民や団体の活動促進のため、市民やまちづくり団体が企画や参画出来る市民まつりなどのイベントを検討すること。

(まとめの基礎となった個別意見)

①市民手作りにするなど合志市まつりのあり方を見直しては。

②まちづくり団体が参画・活躍出来る場を設けること。

③毎年恒例となるまつりを実施してほしい。

・若い世代が参画する場を設けること。

(まとめの基礎となった個別意見)

④いろんな人が集まり、「まちづくり」について話し合う機会や組織を設けるなど、地域活動のリーダーや担い手の育成を。

⑤若者の参画が少ないため、中高大生を参画させ意見をもらう。

⑥若年層を取り込むため、学校行事と並行して意識を高めてもらう。校区で行事を行う。

・まちづくり活動のPRや市民への周知を強化すること。

(まとめの基礎となった個別意見)

⑦「地域づくり団体」の活動をPRすること。

⑧「まちづくり活動」の情報をもっと発信すること。

15. 健康づくりの推進

・引き続き、心と体の健康づくりの推進に努めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

①各地区での運動会の復活や地区対抗での運動会の復活をしてはどうか。

②市の大会まで開催するような、地区対抗綱引き大会を実施してはどうか。

③引き続き、地区等の行事前には必ずラジオ体操を実施させるなどラジオ体操の普及徹底を。また、ラジオ体操を放送で流してはどうか。

④新春のカントリーマラソンのみなので、マラソン大会等の開催を増やしてはどうか。

⑤公園に遊歩道の整備や健康器具を設置して欲しい。

・引き続き、健康づくりを推進するための教育や啓発に努めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

⑥各地域での食育、料理教室など、食生活の見直しができる機会づくりを。

⑦朝食を食べよう運動の呼びかけを。

16. 高齢者の自立と社会参加の促進

・ **高齢者の活動の場の充実と若い世代との交流の場を増やすこと。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①熊本地震により公共施設が被災しており、高齢者等の活動に支障が生じているため早急な復旧を望む。
- ②今回の地震災害では、高齢者が避難などに戸惑ったことを受けて、高齢者の意見を考慮して避難場所の確立、避難路の整備等を行ってもらいたい。
- ③文化、技術、生活などの継承を図るため積極的な世代間交流を実施してもらいたい。

・ **高齢者が自立できるよう、働く場の確保を行うこと。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ④元気で働く意欲、若しくは技術を持っている高齢者に働く場の提供が必要。
- ⑤シルバー人材センターに登録している人のやりたい仕事を広く宣伝し、仕事を増やす。

・ **高齢者に対する支援事業の充実に努めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑥介護保険法の改正に伴い、生活支援サービスの低下にならないように行政に積極的に努めてもらいたい。
- ⑦地域密着型サービス提供体制の整備等に積極的に取り組んでももらいたい。
- ⑧生きがい作りと健康づくりとの連携を図り一体性を持った取り組みを。
- ⑨介護職の人員が不足している。介護職を増やす取り組みを。

17. 障がい者の自立と社会参加の促進

・ **障がい者が生活しやすいまちづくりを行うこと。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①障がい者への差別、偏見を無くすための啓発活動を常に行っていくこと。
- ②ユニバーサル化など、障がい者が安全に生活できる環境の整備。
- ③各種福祉サービスの充実。
- ④支援団体、ボランティア団体の育成。
- ⑤障がい児通所事業所の質の確保。
- ⑥障がいのある人が安心・安全に活動できる環境の整備が必要。

・ **引き続き、障がい者の自立のため、安定して働ける場所の確保に努めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑦一般企業での障がい者雇用を推進する取り組みを。
- ⑧就労支援事業所の質の向上、行政から事業所への指導。
- ⑨特別支援学校との連携協定を結び、様々な取り組みを。
- ⑩障がい者事業所、ベンチャー企業などと連携し、新たな合志ブランドの創出を。

18. 社会福祉の推進

・ **地域ボランティアの育成と住民相互がつながり支えあう体制づくりを図ること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①地域ボランティアの活動を市民に周知し組織への参加の気運を高めること。
- ②住民相互のつながりを取り戻すような取り組みを。
- ③地域ボランティアの育成と研修が重要。
- ④認知症などに関する支援が必要。
- ⑤元気な高齢者のよりどころが必要。
- ⑥ひとり暮らしの高齢者などの要支援者に対し、民生委員と地域が協力して共に支援し深い視点で見守っていく必要がある。

・ **行政、社会福祉協議会、民間福祉事業者が連携・協力し支援制度の周知や福祉事業の情報発信を積極的に行うこと。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑦行政と市社会福祉協議会が連携協力することが必要。
- ⑧障がいのある人が安心・安全に活動できる環境の整備が必要。
- ⑨市内の福祉施設マップを作成し民生委員や市民が活用できるようにしてほしい。
- ⑩福祉に関する情報発信を推進すること。
- ⑪母子・父子家庭に対する自立支援を充実させる。

19. 子どもを見守り、育てる地域づくり

・ **引き続き、行政・学校・保育機関・家庭及び地域が連携を図り、子どもを見守り育てるまちづくりを進めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①保育園や幼稚園に通っていない家庭を訪問し、悩みや困りごとの相談を行ってみてはどうか。
- ②親が子育てについて、悩みや困りごとを話しやすい環境整備を。
- ③引き続き、新生児に対しての家庭訪問の実施を。
- ④引き続き、保健師、民生委員などが連携し、地域での活動に取り組んで欲しい。
- ⑤家でゲームばかりではなく、子どもに外遊びの魅力を伝える行事を多くする。
- ⑥防災無線を活用し、子どもの下校時に合わせて在宅者に対して外に出て見守りを行う啓発を。
- ⑦犬の散歩時間を、子どもの下校時に合わせてもらうような取り組みを実施する。
- ⑧ネットでの被害やトラブルに合わないよう、親を含めた取り組みの実施を。
- ⑨子どもの自転車運転で危ないことが多いので、マナー・指導の徹底を。
- ⑩子ども会の参加率が低いため、参加したいと思う工夫をする。
- ⑪子どもを地域の行事に積極的に参加させる。
- ⑫子供が集える児童館の増設を図る。
- ⑬自然体験が出来る事業の充実を図る。
- ⑭イベントや行事に参加しない家庭をいかに参加させ交流させるかを検討する。

⑮農業等の職場体験は効果があると思うので事業の充実を図る。

⑯企業内保育所の導入を促進すること。

⑰母子・父子家庭に対する自立支援を充実させる。

20. 義務教育の充実

・社会の変化に対応した教育環境の整備を図り、教育の更なる充実を図ること。

(まとめの基礎となった個別意見)

①幼児教育の義務教育化の検討を進めて欲しい。

②子どもに対してボランティアの心を育む様な教育を行って欲しい。(熊本地震で痛切に感じた)

③人の道、道徳の心を育てよう、更なる教育の資質の向上を図って欲しい。

④塾に行くのが常態化しているため、義務教育の更なる充実を図って欲しい。

⑤学校横断的に、学年縦断的に、夏春冬休みを利用して、グループ研修旅行を実施して、教育の質の充実を図る。

・地域と学校が更なる連携を図るとともに、学校情報の周知に努めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

⑥子どもに地域の関わりを持たせるため、教員自らが地域との関わりを持つような指導者教育が必要。

⑦市が進める健康づくりラジオ体操の推進など、行政情報を学校現場へ伝えるため行政と学校現場の連携を図る。

⑧学校評議委員について、市広報で委嘱者名と内容等を周知して欲しい。

・引き続き、心身の健康のための取組みを進めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

⑨クラブ活動を学校教育の一環として強化すべきではないか。

⑩引き続き、ラジオ体操の普及推進を図り、長期的な評価を行う。

21. 生涯学習の推進

・生涯学習に取り組みやすい環境整備に努めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

①コミュニティセンターの機能を充実させること。

②熊本県・市町村公共施設予約システム ひばり☆ネット よやくまくんへの参加など、公共施設のネット予約について更なる利便性を図る。

③天文台施設の機材の充実、開台時間の拡大。

・ニーズに合わせた講座を開催し、周知・広報を工夫すること。

(まとめの基礎となった個別意見)

④各種講座の周知について、HPや広報に掲載はしてあるが、内容が分かりづらいため、参加者を増やすため分かりやすい工夫を。

- ⑤高齢者には趣味講座、子どもには体験学習など、世代に合った学習を行うこと。
- ⑥出前講座をもっと周知して欲しい。
- ⑦施設活用型の体験講座を増やすべきだ。
- ⑧講座に参加したことがない人にとっては最初のハードルが高いように思う。市民が興味を持ち、参加するに至るまでの工夫をすること。
- ⑨講座の様子を写真付きでＨＰに紹介すると参加者の年齢層や性別も分かり、参加しやすい。

22. 生涯スポーツの推進

- ・生涯スポーツの普及のため各スポーツ団体の活動や周知を図ること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①ホームページや広報紙などをもっと活用し、各種スポーツ団体の周知や活動を広く市民に参加の場を知らせること。
- ②引き続き、スポーツ推進員や指導員などの充実を。

- ・参加人口を増やすため誰でも気軽に参加できるイベントやスポーツの実施を検討すること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ③スポーツ教室を数多く行う必要がある。
- ④ウォーキングスタンプラリーなど気軽に参加できる運動の推進。
- ⑤百花園ゴルフ場を活用したゴルフ大会の実施。
- ⑥ボウリングやキャンプなど気軽に参加できるものを普及させる。
- ⑦ゲートボールやウォーキングなど誰でも出来る長続きするスポーツの奨励・推進。
- ⑧ラジオ体操を続けることのメリットを具体化して、地域、事業所、学校などへ普及を図る。

23. 人権が尊重される社会づくり

- ・引き続き、家庭教育・地域教育の更なる充実を図るため、年少期から学習できる環境の整備に努めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①引き続き、小中学校での人権教育を実施し、更に、家庭を巻き込んだ学習内容の検討を。

- ・研修機会の更なる充実と啓発を行い、参画させる仕組みを検討すること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ②恵楓園を活用した啓発事業の推進を。
- ③研修会やイベント等は充実しているが、半強制的に参加させるなど、参加者を増やす工夫を。
- ④恵楓園に店等の集客施設を設けて、人々が行き交う場を作ってみてはどうか。
- ⑤子どもと高齢者との交流イベント等はい多いが、中間層の交流の場が少ないため充実を。

2 4. 歴史と伝統文化を活かした郷土愛の醸成

・文化財、資料館の整備充実を図ること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①文化財の標柱等の破棄や老朽化が見られるため整備を進めてほしい。
- ②熊本地震による被害状況調査を密に行い、修理、保存に努めてもらいたい。
- ③歴史資料館は来館者がいないことが多いため、もっと館を充実させ利用向上を図るべきである。

・観光と一体で取り組むなど、文化財の周知方法を検討すること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ④広報こうしで市の歴史地巡りを掲載しているが、史跡、文化財、歴史的人物、祭り等をシリーズで紹介するなど市民に知ってもらうよう更に内容を工夫する取組を。
- ⑤歴史・文化に興味を持たせるために、フォトコンテストや看板、観光としてのインフォメーション等発信の仕方を考える。

・伝統郷土芸能等の後継者の育成を行うこと。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑥さわやか教養大学での講座に歴史めぐりを取り入れてもらうなどし、歴史に対する「語り部」の育成を図ってもらいたい。
- ⑦伝統行事、後継者の育成。

2 5. 行政改革の推進

・情報発信の強化に努めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①「情報発信の推進」を1つの施策にしてはどうか。
- ②引き続き、積極的な情報発信に努めること。

・引き続き、情報管理の徹底に努めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ③引き続き、セキュリティの強化に努め、個人情報の徹底した管理に努めること。
- ④引き続き、情報管理に対する職員の意識を高めるための研修等を実施すること。

・引き続き、市民サービス向上を目指し、職員の資質を高める取り組みを行うこと。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑤市民ニーズへの柔軟な対応をしてほしい。
- ⑥業務を見直し、ICTを活用したものにしていくこと。
- ⑦田舎の町役場と都会のドライな役所のいいところだけ取り入れるなどし、市民とのちょうどいい距離を保つこと。
- ⑧外部の視点で継続したチェック機能を設けること。
- ⑨異動時期直後のサービスの低下を感じるため、仕事だけでなく人との繋がりまで引継ぎを行うな

ど、一定の質の確保をする取り組みを。

⑩専門知識の豊富なOB・OGの嘱託員を増やすこと。

26. 財政改革の推進

・事業の選択を行い、災害復興への早期対応を進めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

①熊本地震に対する復興計画を早期に策定し市民に周知を図るとともに早急な対応に努めること。

②地震に対する復旧費については、極力国から支出してもらうように努める。

③震災復旧費の確保に最大限の努力を。

④各種公共事業を精査し、不必要な支出については見直して節約に努めること。

⑤事業の選択を。(必要な事業、辛抱する事業)

・財政状況の公開を積極的に行うこと。

(まとめの基礎となった個別意見)

⑥財政状況について、分かりやすく公開すること。

・引き続き、歳出の削減、歳入増のため、新たな仕組みを考える取り組みを進めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

⑦企業が税金をたくさん納められる仕組みを構築する。

⑧「ふるさと納税」を増やす取り組みを行うこと。

⑨合志ブランドを全国へ向けて積極的にPRすること。

⑩受益者負担の拡大、もしくは広告モデルを検討してはどうか。

⑪病院へ行かなくても良い軽い病気等は我慢して、1年間1度も病院へ行かない時はご褒美としてプレミアム商品券を渡す。

⑫イベント等で市外からの来場者からは駐車料金を取るようになりたい。

・無駄を省き効率的な財政運営を行うこと。

(まとめの基礎となった個別意見)

⑬無駄・ムラ・無理の排除に努めること。

⑭広報誌などの市からの文書のデータ化を検討してはどうか。

⑮投資すべきは投資し、貯めるべきは貯める。

⑯執行率の低い事業や対象者が少ないなどの事業の見直しや廃止を積極的に行う必要がある。

⑰指定管理者制度の効果を検証すること。

⑱施設の統廃合の検討。